

散水車:水源地から運んだ水を熊本赤十字病院の浄水槽へ給水



平成28年4月14日に発生した「平成28年熊本地震」による断水で熊本赤十字病院は深刻な水不足に陥りました。

赤十字病院では約350トンの水を備蓄しておりましたが、枯渇するのも時間の問題でした。

そこで、自衛隊を中心としたチーム編成により24時間給水を行うこととなりました。

国土交通省として、当事務所が保有する積載量約7トンの散水車1台を用いてピストン輸送(7回/日、約50トン)による給水活動を行いました。

編成チームの懸命な給水活動により危機を脱すことができました。

断水解消までの間、引き続き全力で取り組んで参ります。

給水活動については、(株)フクケン(災害協定業者)のご協力のもと行っております。引き続き関係各社と連携・協力し、

大隅河川国道事務所も復旧に向けて全力で取り組んで参ります。